



風の娘たち:風車のインсталレーションと創作ダンスのコラボレーションについて

- 風車がきれいだった。これだけ数を揃えて見るのは初めてなので圧巻!
- 入り口で「キンと響いた。あたたかい太陽の光にあふれるような色と、とても美しい風景を見て頂きました。ありがとう。」
- 子ども(3歳)は風車が好きなので、すごいと言っていました。売っていたらいいなと思うほどきれいですね。風によってまわる時は壮観ですね。
- 風車がたくさんある風景には圧倒された。ほかのものも楽しそうに見え、今日のような祝日にはぴったりだと思った。
- 風車がとてもきれいでした。アート楽市が1日だけだったのが残念!
- 噴水と風車、光と風、人、音、静と動、全てが相まって良い一日でした。ありがとうございました。
- 風車にひかれて公園を散策した。いつものジョギングコースが様変わりして驚いた。とっても良い催しなので、これからも頑張ってください。
- 今までにない、移動しながらのダンス鑑賞などは見どころがたくさんあった。駅前でチラシを配っているのが良かった。
- 市民が身近な場所でアートを楽しめるイベント。面白いと思います。来年もあると嬉しいです。
- これだけの規模で行っているのだから、もっと広範囲にPRするべき。美術館近隣の小中学校、副都心や大宮などの公共施設に広報物を置くなどして、もっと事前に催しを知る機会を増やしてほしい。

アート楽市・アートパンチ・ワークショップコレクションについて

- 本日は子どもの散歩で来ましたが、とても楽しく、これらもこんなイベントなら足を運びたい。
- こんなに活気のある北浦と公園を見られて嬉しかったです。無料、または何百円かで色々なイベント、ワークショップに参加できるのは良い機会だと思います。
- 21日のバルーンアートは目にとっても楽しく、あのような人目を引く催しをもっとたくさんやってほしいと思った。
- ロボット、バルーンアート、めんこ、アニメトワイヤーズ。
- もっと色々なお店が出て面白そう。
- プリミティブアート。絵を通じて、障害のある人たちの心の中を知ることができた。
- 地域を元気にして、イメージアップにもなると思う。今後ぜひ続けて欲しい。体験できるものがあると良い。できれば春と秋の2週間開催できるともっと良いと思う。
- 最近増えているような気が…ただ他のアートイベントとこれがどのように違うのか、あまり差というか、特色が見えにくいかなと思います。
- 毎回見させて頂いております。バスカメラを復活させて頂きたいと思います。
- 公園内のパフォーマンス(ゆっくり動く人たちが)特に気に入った。
- 風の回廊のワークショップを体験したのが楽しかった。アイロンがけなども初体験(就学前の子ども)。図工ではなかなかできないことなので、こんなに簡単に写真が撮れる

- なんて新鮮。
- 竹とんぼ作りをやってみたかったが、順番待ちで結局あきらめた。10代の子どもが申し込みなしで楽しめる工作や絵のワークショップを増やしてほしい。公園内や商店街のオブジェは目を引くが、同じような雰囲気なので、フィンアートっぽいものから現代アートまで、見飽きないだけのバリエーションが欲しい。催し自体はとて素晴らしい、街中で展開しているのも新鮮なので、風車とあわせて毎年恒例にしていきたい。
- 回遊美術館が面白かった。探しながら商店街を歩くのは楽しいが、展示の仕方にひと工夫ほしい。
- 商店街の作品は面白かったです。が、大きなものは目立ちますが、ごく小さなものはどうしても見つけにくいので、もっと目立つものか、尚かつ量もたくさんあるとよいと思いました。
- 子どもと一緒に来た。見せるだけの催しではなく、参加型が充実していることに好感。商店街の作品もなかなか面白く、特にサイトウ薬局の前の「光の箱」が新鮮で面白かった。竹のサウンドオブジェについては、去年の方がモーターで鳴る音の種類や数が多くて面白かった。
- 豚さん。かわいい。
- 風のサウンドオブジェが心地良い。風車もとてもきれいでmovieに録った。トラのぬいぐるみを持って年賀状用の写真を撮りに来たので、最高のローケーションに。
- 風車の数と美しさに圧倒されました。回遊美術館で工房集のホワイトキューブを探しながら歩いたのが楽しかったです。街の中に溶け込んでいました。
- 風車がきれいで良かったです。商店街の謎巡りも面白かったです。
- ストリート美術の難しさを感じました。大変面白いとは思いますが、風土と環境の中で理解を得ていくのは…。(編集:島村眞理/SMF事務局)

回遊美術館協力店舗からの感想・意見から

〈全般〉

- 今年は随分盛況だったようで、パンフレットを持った人が続々商店街にやって来るのが見えた。TVや新聞で報道されているのも嬉しく見た。今後も機会があればぜひ声をかけて欲しい。
- イベントを知った人が店内まで訪ねて来て、普段から壁にかけている絵や飾りなどを指差し、「これもそうですか?」と聞かれた。今回は展示目当てに来る人が多かったようだ。
- お客さんの中には、TVの報道を見たり、作品に気付いて「これ、美術館でやっている催し?」と聞く人もいたので、公園でもイベントがあるらしいことを伝えた。多くの人が楽しめる。このような企画は大いに結構だと思う。

〈展示作品について〉

- これ(三友周太+河村陽介「音の伝播-音の箱・光の箱」)何だろう???という感じ。カメラの方は中に入れば面白さが分かったが、糸電話の方は作品なのかどうかますます分からなかった。普段はなかなか美術に触れる機会が無い分、不思議なものを見させてもらった。物として目立

- つので、通りかかる人も気になった様子。店内でもお客さんに聞かれた時にパンフレットを渡して案内した。商店街が賑わうので、もしまた機会があれば協力したい。
- お客さんからかなりの反響。通りがかりや、カウンターを訪ねる人みな「この絵(出店久夫「アリアドネは夢を見る」)すごいね!」と。店の雰囲気と一体化していることから、こちら側からディスプレイ用に発注したものかとか聞かれたが、美術館の催しであることや、向かいの八百屋さんにも同じ作家の作品があることを伝えた。このような展示はこれからもぜひ続けて欲しいし、この壁面を使って、日替わりが週替わりで、色々な作家の展示をしてみてもどうか。
- お客さんから作品(中津川浩章と工房集の仲間たち「みんなのドリーミングボックス」)について聞かれて、障害者が作ったことなどを伝えた。とても可愛らしいので、もっと目立つように隣に人形をディスプレイしてみたが、「芸術作品なのだから、余計なことをすると雰囲気を損なうのではないか」と主人に言われて取り下げたこともあった。

〈運営その他の改善について〉

- 店内の映像作品(古川勝紀「ピカソ-七つの謎めぐり」の映像作品)を熱心に鑑賞する人があまり見られなかったのがもったいなかった。芸術にあまり関心のない人や子どもにとっては、ピカソは分かりにくいかも。向かいの作品(音の箱・光の箱)は目立つし、誰でも楽しめる良い例だったと思う。屋台(自力更生車)の滞在場所が主に商店街西側だったので、こちらにも止まって賑わせて欲しい。作家の古川さんとも話したのだが、スタンプラリーを取り入れるなど作品の見せ方や店の協力の仕方の工夫を考えたり、事前にイベント関係者と商店街とで打ち合わせをして、もっと互いの連携を強めてから開催に臨みたい。パンフレットももう少し早く渡してもらえれば。大きな美術館と公園があると地域が潤うので、これからも頑張ってください。こちらとしてもできるだけ協力していきたい。
- 日曜(22日)に、商店街を案内するスタッフが誰もいなかったことから、展示(出店久夫「無題」)目当てに見に来てくれた人が残念そうにしていた。仕方ないので、商売の合間に自分の店周辺だけについては出来る範囲で案内をしたが、パンフレットだけでは作品の位置も分かりにくく、案内する人は常時欠かさない。自分自身、作品に対しての深く感情移入をしていて、商売をするのと同じくらい、作品を見てもらうことにも情熱を注いでいた。それだけに、商品と値段しか目に入らないお客さんたちがもどかし、うちに作品展示は向いていないようだから、来年からはお断りしようと考えていたところ。隣の作品(中津川浩章と工房集の仲間たち「みんなのドリーミングボックス」)についても、否定的な反応があったり、「こんなもの邪魔だ」と吐き捨てる人があったり。一日中作品の傍で過ごさなければならぬ立場上、そのような声を聞くのが辛く、悲しかった。商店街に美術作品を置くことは難しい。見る人のいろいろな反応から、美術館ではない身近な場所に作品展示することについて、いろいろと考えさせられたが、自分自身はすごく良いものを見せてもらったと思っている。(編集:小野寺茜/SMF事務局)

協力者・協力団体・連携機関名簿(敬称略)

本事業にご協力いただきました以下の方々、諸団体・機関、ならびに、ここに名前を記すことのできませんでしたみなさまに、心から感謝いたします。

- 個人:青木孝子、赤羽拓真、朝倉直和、浅沼奨、浅見梓乃、鮎澤彰、荒井智英、石井花苗、石井順子、石田響子、石田浩美、石田由美子、石村卓也、板谷理英、板羽強、伊藤凜菜、福田淳哉、今井伸治、今井理子、入間川篤、岩本早織、岩山嵩、上園美和、上野綾香、上原祥吾、牛山大肇、内田俊平、梅田耕、梅本曜子、江口佳奈江、遠田英則、遠藤麻木子、大川祐、大木悠嗣、大塚みな実、岡田忠明、岡野高志、岡本茜、奥野由利、大澤加寿彦、大山香里、小田浩子、小野寺美佳、小野朋央、小原将雅、五十殿彩子、小和田直幸、貝塚瑛、柿本貴志、鹿島一雄、柏崎章、加藤江里、加藤里志、加藤誠一郎、加藤菜穂、金田翔、兼久和恵、金川京子、菊池亜弥、菊池由莉、木村日未子、清野光男、草野遥奈、窪田航平、郡司健人、小池美紀、小池義規、古賀美彩恵、園分足人、小暮咲枝、小島圭織、後藤藤太、五嶋稔、小谷恵、小西由華、小林素緒、小林玲子、小宮幸子、近藤征治、齋藤彩香、斎藤はるか、齋藤美帆、酒井みのり、櫻井千寿子、佐々木梓紗、佐藤千沙紀、佐藤大輔、佐藤智彦、佐藤真理、佐藤路香、鮫島綾子、執行正繁、篠原貴幸、柴原幸智、渋谷愛美、嶋崎雄斗、清水絢子、清水美里、白田直紀、菅原史也、鈴木香奈子、鈴木健一郎、鈴木泰介、鈴木ツトム、関口真太郎、芹澤由貴子、染谷和佳古、高木文絵、高谷こずえ、高遠和磨、高橋慶好、高浜均、高山典子、武田桃子、田島和子、田島環、田島祐介、田中章也、田中麻友美、棚澤寛、田村溪、槻山美南、津田征吾、手島互、長澤晋一、中嶋宏聡、永田博子、中西智也、中根由香利、長濱依莉乃、中原裕章、中村俊介、中村祥子、中村隆行、中村勇太、名田陽子、南部早紀、西川泰弘、西野夢実、葦澤大地、野口匠、野口大輝、野口真理、野口優子、野見山由美子、野本茜、橋本恭介、服部真真理、浜野絵美、浜光貴、林里咲、樋口愛、姫野雄飛、平井順名、平岩沙奈、平野淳子、平野春菜、平野雅子、福原美菜里、藤井咲恵、藤田茂時、藤原正裕、布施雅子、古澤恵利菜、星晃、細越ゆかり、細淵友介、堀田有莉絵、堀部安二、松下祐土、松村美沙、松本佳巳、丸山智代、水野晶子、南照子、宮崎美里、宮下涼、宮本靖子、三輪龍太郎、村上健、村田絵里、室伏佐紀、百瀬裕明、森田悠季江、八木良美、矢口俊、山内樹美子、山浦修治、山口愛、山口達也、山下瞳、山田志保、山本和子、山本澤、山本夕菜、結城康太郎、横山博樹、吉富竜正、吉田政則、吉野咲、吉松麻衣、吉原玉望、米山万智、鷲津智子、若田部健太、渡邊あや、渡邊早葉、渡辺範久、渡辺茉弥、渡辺唯、ほか
- 団体(有)アイ工房、ART FANS、アートプラットフォーム、あとりえぶる〜むんCAC、(有)アームズ、アルテクルブ、入間市民音楽祭実行委員会、(有)浦和教材、うらわ建築塾、(株)浦和造形研究所、NHKさいたま放送局、NPO法人ACT.JT、NPO法人アートパース・フォーラム、NPO法人元荒川をきれいにする会、川口購物工業協同組合、川口市、川口市観光協会、川口商工会議所、川口太陽の家、工房集、北浦和西口銀座商店街振興組合(アリエノン、Atoll、上村豆腐店、魚兼、カギの救急車、かね吉、川口信用金庫北浦和支店、クリーニング コスモ北浦和店、グリーンマートHANO、COSCOJI、COSMETICS SHIMIZU、小松屋、サイトウ薬局、昭和薬局、セキグチ薬局、

中華楼、肉のおおき、ハトヤ、BJOSSOM、ひまわり、ファインズ+LA GANGA、ふじや、POLA THE BEAUTY 北浦和店、みのりや、メルヘン、横内酒店、りぼん、理容いづみ、ルクレール、レストランミー、若松湯/グランスイト浦和常盤管理組合、埼玉県常盤職員住宅管理組合、キタミン・ラボ舎、(株)キョードー、KAPL(コシガヤアートポイントラボ)、国際アートムーブ川口、国際野外の表現展、埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課、埼玉県県民生活部文化振興課、埼玉県舞踊協会、埼玉県立大宮光陵高等学校、埼玉県立近代美術館フレンド(fam's)、埼玉新聞社、埼玉大学教育学部、CAF.N協会、JIA埼玉、JR北浦和駅、芝川鑄造(株)、新木場倶楽部、ダンスユニット「転々」、テレビ埼玉、テレビ埼玉ミュージック、(株)東京ステアオ、東京造形大学、東京電機大学理工学部作曲・音楽文化研究室、常盤九丁目自治会、常盤十丁目自治会、(有)とらや、日本大学芸術学部、PALS、bug-depayse、ヒアンスハウスの会、東野高等学校、文教大学、masui.R.D.R.まちアートプロジェクト、三菱商事建材(株)、光村印刷(株)、宮代町 竹のアート実行委員会、ほか

■主要連携機関:入間市博物館[アリット]、うらわ美術館、川口市立アートギャラリー[アトリア]、川越市立美術館、埼玉県立近代美術館、東京電機大学理工学部

《SMSアートのわっ!》報道記事等一覧

- ・「ミュージアム・ニュースZOCALOG」10-11月号:「SMFアートのわっ!あつまれアートのつむじ風 アート縁日&ラウンドテーブル」(中村誠)
- ・「ぼど」11月13日号:「SMFアートのわっ!あつまれアートのつむじ風」
- ・「彩の国メールマガジン」11月19日号
- ・「ショッパー」11月19日号:「アートを楽しむ3日間 埼玉県立近代美術館などで」
- ・「読売新聞」11月19日:「街角、店舗で芸術作品展 芸術家が集い北浦和で21日から」
- ・「朝日新聞」11月20日:「『アートの輪』描くかざぐるま 市民が作った3600本、野外展示 23日 さいたま・北浦和公園」(今井由紀子)
- ・NHKテレビ「こんにちは いっと6けん」11月22日(放送)
- ・「朝日新聞」11月24日:「かざぐるま、アートに回る」
- ・「埼玉新聞」11月24日:「一面に風の花 北浦和公園で野外アート」(山開美和)
- ・「朝日新聞」11月25日:「自由に描き自分発見 生徒ら「ドローイング」600点 県立美術館 来月に展示」
- ・NHKテレビ「ゆうどきネットワーク」12月15日:「キューボラのいま・むかし」(放送)
- ・ケーブルテレビJ:COMさいたま「Hometownさいたま」11月29日~12月5日(放送)

《SMFアートのわっ!》実行委員会事務局

事務局長:土田保浩(埼玉県立近代美術館副館長)
 事務局員:細井良正、中村誠、安達由香、高辻文二、島村眞理、小野寺茜、近田明奈
 実行委員会開催:平成21年10月16日、平成22年3月11日
 運営委員会開催:平成21年10月18日・11月8日・12月6日、平成22年1月10日・2月7日・3月7日



SMF アートのわっ! 委員名簿(敬称略)

- 実行委員
 委員長 島村和男(埼玉県立近代美術館館長・埼玉県教育長)
 委員 藤間文隆(うらわ美術館館長)
 委員 荻原秀介(川越市立美術館館長)
 委員 小川順一郎(川口市立アートギャラリー・アトリア館長)
 委員 黒澤一雄(入間市博物館 館長)
 委員 井浦雅司(東京電機大学理工学部教授・学部長)
 委員 本田貴侶(埼玉大学教育学部名誉教授)
 委員 高橋幸次(日本大学芸術学部教授)
 委員 桑代百合子(NHKさいたま放送局放送部長)
 委員 渡辺秋彦(埼玉新聞社文化くらし部部长)
 委員 今宮照久(テレビ埼玉ミュージック社長・テレビ埼玉取締役)
 委員 牧恒男(埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課長)
 委員 佐藤ひさ子(埼玉県県民生活部文化振興課長)

- 運営委員
 委員 青山恭之(うらわ建築塾代表)
 委員 小野寺優元(国際野外の表現展オーガナイザー)
 委員 小原恵利子(ART FANS代表)
 委員 柴山拓郎(東京電機大学理工学部講師)
 委員 高橋博夫(文芸誌『孤帆』同人・俳句誌『杉』同人)
 委員 高浜均(埼玉県立大宮光陵高等学校教諭)
 委員 丹下尤子(CAF.N協会 顧問)
 委員 藤井香(埼玉県舞踊協会研究部代表)
 委員 三浦清史(ヒアンスハウスの会運営委員)
 委員 山尾聖子(杉野服飾大学講師)

- 協力委員
 委員 浅見俊哉(KAPL代表/美術家・美術教師)
 委員 奥村基(写真家)
 委員 小野寺茜(アートコーディネーター)
 委員 金子良治(Kawaguchi Art Factory代表)
 委員 佐野智史(ヒアンスハウスの会事務局/建築家)
 委員 鈴木真里子(まちアートプロジェクト代表)
 委員 中村隆(有限会社アームズ代表/デザイナー)
 委員 野本翔平(bug-depayse/パフォーマンス)
 委員 増井真理子(masui.R.D.R.主宰)
 委員 山中知彦(新潟県立大学教授、都市デザイナー)

- 芸術アドバイザー
 顧問 佐藤時啓(東京芸術大学准教授/美術家)
 顧問 根岸和弘(美術家)
 顧問 松本秋則(不思議美術家)
 顧問 三友周太(Ray Projects 代表/美術家)

